

2021.07.27沖繩タイムス

再風葬求め監査請求

琉球人遺骨 子孫らが県に

台湾大学から県側に返還された63体分の琉球人の遺骨を県教委が保管計測したのは違法だとして、第一尚氏の子孫に当たるという玉城毅さん(71)と亀谷正子さん(76)らは26日、県に再風葬や損害賠償を求める監査請求をしたと発表した。

玉城さんは1月にも再風葬などを求めて監査請求していたが、「監査請求の対象とは言えない」などと却下されたため、内容を明確

にして再請求した。今後、遺骨管理の違法性に関する3度目の監査請求や訴訟も視野に入れる。

遺骨は戦前に京都帝国大学の人類学者によって今帰仁村の百按司墓などで収集され、台湾大学で保管、2019年3月に県側へ返還された。県庁で記者会見した玉城さんは「県教委は違法に収集された遺骨に不当な経費をかけて保管計測している」と訴えた。